

開催理念と目的

SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION(通称、SJMC)実行委員会及びさくら Music office は、音楽文化の充実と発展に寄与し、楽器習学者及び演奏者の技術向上と健全な育成を教育的観点から図ること、これらを全国に向けて発信することを目的としています。優れたホールを有し音楽の盛んな遠軽町から全国に向け発信すべく、以下の理念に沿い、「SAKURA JAPAN 管打楽器コンテスト」を開催します。

- ・コンテスト参加を目標とすることにより、日々の練習への自発的な取り組み、技術と向上心の成長を促進します。
- ・上位入賞者によるコンサート出場権を授与するなど、審査時の他にも演奏披露の場を提供し、ホール演奏経験により得られる達成感、技術力や精神力を育みます。
- ・第1～5位表彰の他、全参加者に講評を渡します。賞位のみに捉われず、自身の優れた点や可能性を実感し、克服すべき課題を明確に見い出す機会となります。

参加後の更なるスキルアップや成長を応援する「教育型」のコンテストです。皆さまのご参加をお待ちしております。

参加要項

【エントリー料、部門と部】

エントリー料は税込 15,400 円です。木管楽器部門・金管楽器部門・打楽器部門の3部門、各部門 小学生の部、中学生の部、高校生の部（大学受験準備中の方含む）、一般の部（大学生や社会人含む、年齢上限なし）で審査します。

【参加対象と楽器】

小学生以上で下記管打楽器を演奏される方。但し、職業演奏家の参加は認めません。

木管楽器部門：ピッコロ、フルート、オーボエ、コールアングレ、クラリネット、バスクラリネット、ファゴット
ソプラノサクソフォン、アルトサクソフォン、テナーサクソフォン、バリトンサクソフォン

金管楽器部門：ホルン、アルトホルン、トランペット、コルネット、トロンボーン、バリトン、ユーフォニアム、チューバ

打楽器部門：マリンバ、シロフォン、ビブラフォン、スネアドラム、ティンパニ、マルチパーカッション

*記載のない楽器で参加希望の方は事務局にお問い合わせください。

【楽器貸出し及び楽器運搬・搬入・セッティング補助用員について】

次の楽器を無料貸出しいたします（メーカー・品番等詳細は右記 QR コードまたは HP からご確認ください）。マリンバ、シロフォン、ビブラフォン、ドラムセット、バスドラム、ペダルティンパニ、銅鑼、ピアノ（伴奏用）。これ以外の楽器及び銅鑼以外のマレット・スティックは参加者自身でご持参ください。また、主催者側による楽器運搬及び搬入、セッティング補助はありませんので、必要な方は各自で手配してください。車両情報や補助用員氏名の事前申告が必要です（エントリーフォームに入力欄がありますので、必ずご入力ください）。



【演奏曲と審査分数】

ピアノ伴奏または無伴奏による任意の自由曲を演奏してください（伴奏者は自己手配による、当日の伴奏合わせ時間はありません）。出版されている作品に限ります。繰り返しや自由曲のカットは任意、カット箇所は申告不要です。審査演奏分数は5分程度、超過する楽曲は演奏中止の合図を出しますので、5分以内に収める必要はありません。尚、審査分数には出入りを含み、計測は舞台に踏み出したところから開始します。

【許諾と著作権料】

申請及び著作権料の支払いは事務局で一括して行います。JASRAC データベース非掲載や許諾の得られない楽曲でエントリーされた方には事務局から個別に連絡をいたします。

【講評・表彰・副賞】

参加者全員に講評をお渡します。各部門の各部ごとに、第1～5位、また、全参加者よりグランプリ、準グランプリを選出し賞状を授与します。第1位受賞者は次回大会審査終了後開催の GALA CONCERT 出演権を授与します（出演は任意）。何れも該当者なしの場合がありますのでご了承ください。

【審査員】 * 敬称略・五十音順による

白戸達也（打楽器奏者、北翔大学非常勤講師）

高橋利明（北見地区吹奏楽連盟副理事長、吹奏楽指導者）* 審査員長

高橋由香（元札幌大谷高等学校音楽科非常勤講師、たかはし音楽教室主宰、フルート奏者）

松村恵（MINAMI 音楽アカデミーホルン講師）